

平成 27 年度 第 4 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録 (平成 27 年 10 月 31 日)

出席者：秋山、三井、梶原、稲葉、岩井、大石、大庭、岡庭、勝又、小林、齋藤、建木、林(理事:13 名)
小笠原 (監事 1 名)、[高岡、小坂、辻、武内 (書記)]

場 所：静岡県作業療法士会事務局 (静岡) 13:00~17:50

※【平成 27 年度 第 4 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 第 29 回静岡県 OT 学会 進捗 (進行状況は理事会資料参照)

- ・同日の予定：28 日 OT 協会の代議員総会
29 日 47 委員会 (代理出席予定)
- ・開会式の PT、ST 士会長を来賓。例年各士会の挨拶はないが、他の来賓がなければ検討。
→ 内容決定後秋山会長へ報告

2. 第 30 回静岡県 OT 学会 進捗

- ・期 日：平成 29 年 6 月 3 日 (土)・4 日 (日)
- ・場 所：沼津プラサヴェルデ
- ・テーマ：検討中
- ・組 閣：学会長 : 田尻氏 (静岡がんセンター)
実行委員長：斉藤氏 (NTT 東日本伊豆病院)
事務局 : 生田氏 (中伊豆リハビリテーションセンター)
学術局 : 大庭氏 (富士リハビリテーション専門学校)
運営局 : 加納氏 (中伊豆リハビリテーションセンター)
- ・その他：運営局の打ち合わせや決起集会を開催予定

3. 静岡県作業療法士連盟設立の件

- ・政界へ働きかけることの必要性が高まっている。県士会とは一線置いた形で進めたほうが良い。
 - ・県士会との連動も図っていくため窓口を設ける。
- ⇒ 設立する方向で検討。担当は熊谷顧問、稲葉理事 (岩井理事より熊谷顧問へ報告)

4. 公益法人取得の件

- ・進捗状況については理事会資料 (法人化推進委員会) 参照
- ・公益法人取得後の定款を県の隆氏に確認中
- ・来年度公益法人格取得は難しく、来年申請、再来年 4 月から公益法人格取得の流れで検討
- ・各部には詳細確認がありそう (SIG とは? OT しずおかの発送先は? 等々)

5. POS (リハ専門職) 協議会設立の件

- ・PT 士会主導で、規約や定款作成中であり一般社団法人取得に向けた動き。
- ・医師会や看護協会、訪問看護協会等他団体へ意見・了解を得て行うべき
- ・POS を一つの団体とすると OT 独自のことが進めにくい
- ・全国的には任意団体として行っている。
- ・実績を作ってから法人化の検討を行っていくべき
- ・会員は各県士会の会員が自動的に会員となるのか。

⇒ OT 士会としては、早急に進めるべき話ではないことを伝えていく。

6. OT 協会代議員選挙について

- ・定数 6 名 (前回代議員 5 名 + 三井副会長)

7. 各種委員の推薦依頼の確認 (事務局)

- ・特になし

8. その他

1) 理事会資料ペーパーレス化について

- ・理事会資料は不要、PDF データで良いという理事よりペーパーレス化を実施
- ・理事会でのプロジェクター使用も検討

2) Dropbox に資料データを保管・管理

- ・理事会使用のデータや事務局へ発送された他団体等からのメールや郵送物、県士会ロゴなどを Dropbox にて保管。方法については事務局より後日連絡。
- ・次回理事会資料の提出方法は追って連絡。

3) 浜松市障害者更生相談所から講師派遣依頼 (建木理事)

- ・地域リハビリテーション推進事業として、精神・発達障害者のフォローアップを図る趣旨
- ・市職員内田氏 (PT) より OT 派遣依頼の必要性を担当有海氏へ訴えている状況

⇒ 建木理事より有海氏へアプローチ

- 4) 来年度計画と予算の提出
 - ・ 11 月末までに来年度事業計画と予算書を提出
 - ・ 公益法人格取得に向けて遊休財産については検討課題

【各部報告】

1. 財務部（小林理事）

- ・ 財務業務を事務局員（高岡さん）へ引継ぎを行う。

2. 学術部（三井副会長）

1) 平成 28 年度活動方針について

①学術部研修会の運営方針

- ・ 第 1 回：通年シリーズ化し認知症がテーマ
- ・ 第 2 回：過去のテーマを再度取り上げ
- ・ 第 3 回：トピックステーマ
- ・ 研修会の宣伝方法を工夫・強化する
- ・ 研修会資料の開示について ⇒ 却下

②その他方針内容については、理事会資料参照

2) MTDLP 関連

①生活行為向上リハビリテーション実施加算に関するアンケート

- ・ 現在部長同士で協議中。加算取得施設情報を収集。

②MTDLP 委員会企画書

- ・ OT 協会は平成 28 年度までに基礎研修修了者 60%（当士会：825 名）以上、実践者研修修了者 30%以上、継続実践者 20%以上、指導者 5%を目指している。
- ・ 研修会会費：基礎研修、事例検討会ともに会費について検討
- ・ 学術部員で MTDLP 未経験者が委員として活動している現状がある。
⇒ サポーターについて委員として活動するようであれば交通費等の支給対象にする
- ・ MTDLP 指導者研修会：平成 28 年 1 月 30・31 日（東京都）
高杉氏（介護老人保健施設あすなろ）出席
今後当該研修における交通費・宿泊費は県士会より支給

3. 教育部（稲葉理事）

1) 新人オリエンテーション日程

- ・ 日時：平成 28 年 4 月 17 日（日）または 4 月 30 日（土）静岡労政会館大ホールにて開催予定
⇒ 平成 28 年 4 月 24 日で再検討。

2) 各種研修会：随時開催（理事会資料参照）

3) MTDLP 研修と生涯教育制度の関連について

①来年度より MTDLP を現職者選択研修の必修研修として位置付ける

- ・ 既存 4 分野（身障、精神、高齢期、発達）から 1 つ受講
- ・ 現選（必）MTDLP 研修を受講

4) 生涯教育制度推進担当者会議（平成 27 年 10 月 3・4 日東京にて開催）

- ・ MTDLP 研修はどの部署で運営するか質問あり（Q）。
(A) MTDLP 推進委員会にて運営（押印・名簿管理は各士会教育部）
⇒ 学術部の計画と連動して行う。まずはシラバスを確認。

5) その他：研修会開催の各施設からパソコン借りていたが、セキュリティ上持ち出しが厳しい。

- ⇒ 来年度予算として PC 購入 or リースを検討

4. 広報部（大石理事）

1) 平成 28 年度事業計画

- ・ コストや HP のセキュリティ面が課題（脆弱化を危惧）
- ・ 会報誌の費用削減を行いながら、新システム（外向け広報誌や HP の業者委託、ツールの開発、会員情報発信システム等）への着手
- ・ 新システムに対して、他部門へまたがるプロジェクトチーム立ち上げは良いか ⇒ 承認
- ・ 事務局と協議し会員管理システムの把握
⇒ OT 協会主催の会員管理システム研修会に参加してはどうか（参加人数によっては調査部も）
会員管理のシステムを複数にすることには反対。まずは事務局の会員管理システムを把握

5. 渉外部（秋山会長）

- ・詳細は理事会資料参照
- ・「地域包括ケア推進リーダー」「介護予防推進リーダー」関連
研修会を2日間×4回、フォローアップ研修1日×2回開催。11月28・29日の東部（富士）地区
開催を始めとして各地区（他、静岡市、伊豆の国市、浜松市）にて開催

6. 福利部（齋藤理事）

- 東海北陸リーダー養成研修会 in 静岡 第4回静岡 OT リーダー育成研修会
・参加者29名、全体で69名の参加予定（プログラムは理事会資料参照）

7. 事業部（建木理事）

- ・施設又は作業療法見学や公開講座、ふれあい広場などの事業活動実施
- ・チャレンジ事業：1事業（10万円助成）
- ・今後啓発事業、公開講座実施予定

8. 調査部（大庭理事）

- ・育児世代 OT に対するアンケート：前回再検討となり今回草案完成 ⇒ 承認

9. 制度対策部（梶原副会長）

1) 検討事項

- ・平成28年度診療報酬改定研修会開催について（改定後の開催予定）
⇒ 対象者を絞って行う。次回理事会で研修会案提出
- ・OT協会制度対策部調査協力依頼（県士会員所属通所介護事業所抽出）
⇒ メーリングで各地区に情報収集するよう相談

2) その他

- 次期診療報酬改定関連情報（10月21日社会保障審議会医療保険部会より）
・質の高いリハビリテーションの評価等、疾病からの早期回復の推進
⇒ アウトカムに着目した評価（実績に対しての報酬）

10. 規約検討会（梶原副会長）

- 1) 報告事項 ・規約についての説明。（規則、規約、規程、規定とは何か）
・当士会で整備すべき規約・規程等（案）
- 2) 検討事項 : 規約等の作成について：事務局長とも検討し行っていく。

11. 地域活動推進部

- 1) 研修会 ・日時：平成28年1月31日（日）13:00～17:00
・場所：労政会館（静岡市）
・内容：中村 OT 協会会長講義、グループワークなど
- 2) 東部（大庭理事）：タウンミーティング：平成27年10月18日（日）参加者74名
- 3) 中部（勝俣理事）：特になし
- 4) 西部（稲葉理事）：特になし

12. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）

- ・東海北陸学会（11月28・29日）開会式出席：三井副会長、同日支部会開催
- ・助成金の受け取りを実施
- ・連絡協議会の存続については今後検討

13. 災害対策委員会（村岡理事）：紙面報告

14. 法人化推進委員会（勝又理事）：上頁参照

15. 表彰委員会（小坂委員）

- ・次年度県士会表彰：岩井氏、梶原氏、三井氏を検討したい。
⇒ 経験年数や理事在籍期間などを考慮し、勝又氏、岡庭氏、岩井氏を理事会承認

16. 訪問リハビリテーション連絡委員会（齋藤理事）

1) 報告事項

①第6回静岡県訪問リハ実務者研修会（入門編）

- ・開催日：平成27年12月12日（土）・13日（日）（閉会式挨拶：岩井理事）
- ・定員：60名（現在27名募集 内 OT6名）
- ・中村育子氏（訪問栄養士）の特別講座の聴講を他団体へも広報（現在2名）

②活動と参加に向けた事例報告の収集について

- ・財団法人訪問リハ振興財団から事例報告の収集により事例集作成の提案あり。連絡委員会でも事例集め始めているが意識は低い。
⇒ 財団の実績のための収集であれば検討が必要。財団に確認。

③会計方法について

連絡委員会内で意見は出ているが、各士会への判断を仰ぎながら行うため進みにくい。

3 士会協議会が設立されれば、そこで検討してほしい

17. 事務局（岩井事務局長）

1) 検討事項

- ①事務局員の移籍料：155,000 円を拠出する ⇒ 承認
- ②理事会開催前に事務局会議と 3 役会議・定期監査の開催（目的については理事会資料参照）
⇒ 次回は部長会もあるため時間調整を再検討
- ③交通費領収書書式：活動した日と領収書の日が異なる場合に記載する工夫をした。
使用しながら変更点を検討

2) 提案事項

- ①理事会資料の一部ペーパーレス化について：上頁参照
- ②理事会資料の一部ペーパーレス化に伴う資料提出方法の変更について：上頁参照
- ③名刺作成：広報物として広報部の事業計画・予算で作成

3) 確認事項

- ①静岡県精神保健福祉協会より地域移行定着支援研修 後援依頼について
→ 秋山会長へ確認済み
- ②ルーティン化
 - ・事務局内ワックス掛け：11月5日（木）9：00～ ダスキン
 - ・不要冊子、パンフ等破棄 10月下旬～11月上旬
- ③名刺作成の有無：理事会資料参照

4) 報告事項：理事会資料参照

5) その他

- ①会場レンタル：研修会等で会場レンタルする際、以前に借りたことがあるか情報共有すべき
会場レンタルするための担当者を整備することも検討
- ②総会資料：理事会終了後、総会資料に落とし込むように進めたい。今後検討
- ③安心住まい：来年度から手数料 10%を徴収する（+源泉徴収もかける）→ 再度文書等で相談
- ④マイナンバー：マイナンバー制度後、研修会講師料はマイナンバーと本人確認後に支払う。
電子証明書など準備が必要か確認し次回理事会にて再検討。

18. その他

【次回】

第 5 回理事会：平成 27 年 12 月 26 日（土）

部長会（時間は岩井事務局長から後日連絡）、忘年会開催

平成 27 年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第 1 回	4 月	26 日（日）	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	13 日	部長会開催	6 月 20 日 OT 学会
第 3 回	8 月	1 日	納涼会	
第 4 回	10 月	31 日		
第 5 回	12 月	26 日	部長会開催、忘年会	
第 6 回	2 月	6 日、13 日、20 日、27 日	ヒヤリング	
第 7 回	3 月	26 日（土） or 27 日（日）	年度末の会計	

※平成 27 年度 第 1 回理事会は、新人オリエンテーション開催時とする。